

かわはし



HAND in HAND
JA ONOMICHI
GENERAL
HOSPITAL

2017年

Vol.85



CONTENTS

- 診療科紹介～整形外科～
- 看護のチカラ 摂食・嚥下障害看護認定看護師
- がん診療連携拠点病院の取り組み～栄養科～
- ロービジョン外来の開設について
- アピアランスサロンを開催しました
- 新任医師のご紹介
- リレーコラム



HAND in HAND

〒722-8508 広島県尾道市平原1丁目10-23
TEL (0848) 22-8111(代) FAX (0848) 23-3214

●発行日 2017年8月1日

整形外科

平成 29 年現在、数面義雄、盛谷和生、田中恒、清水良、松浦正己、岩佐和俊の 6 人体制で診療にあたっています。

外来診察は曜日によって異なりますが 3 診から 5 診で行い、毎週月曜日には特殊外来として膝外来を行っています。火曜日、木曜日は義肢装具士により、コルセットや足底板などの装具を採型、装着を行っています。

手術日は月、火、水、金とほぼ毎日手術を行っており、平成 28 年度の手術件数は 868 件でした。

主な手術内容は骨折観血手術、膝関節手術(関節鏡下靭帯再建術、人工膝関節置換術)、脊椎手術となっています。

～変形性膝関節症について～

変形性膝関節症は、年齢を重ねることによって、膝関節が退行変性をおこし、関節が滑らかに動かなくなったり、痛くなったりする病気です。関節軟骨がすり減り、また一方で部分的に増殖する変化が起るところで、関節の隙間が狭くなったり、骨棘(こつきょく)という突起ができ、関節の形態が変化します。

治療法

病状の程度が軽い場合は、脚あげ体操など太ももの筋力増強訓練や、足底板(靴の中敷き)の使用、ヒアルロン酸の関節内注射を行います。保存療法で効果がなく、膝の内側だけが悪い場合は、骨切り術を行います。



(写真 1)



(写真 2)

凹脚に変形した膝を X 脚にすることによって体重が膝関節の外側にかかるようにする手術です。(写真 1.2)



(写真 3)



(写真 4)

内外側両方の関節面が悪い場合、人工膝関節置換術を行います。(写真 3.4)



脊椎手術



膝関節鏡手術

当院での変形性膝関節症の治療における特徴のひとつは、従来のものに少し改良を加え、除痛効果をあげた足底板を使用していること、なるべく関節を温存させるために人工関節置換術でなく骨切り術を比較的多く行っていることだと思います。



外来スタッフ一同と整形外科医

数面義雄（前列中央）、盛谷和生（前列左）、田中 恒（前列右）、
松浦正己（2列目左）、岩佐和俊（2列目左2番）、清水 良（2列目左3番目）

連載企画

看護のチカラ



摂食・嚥下障害看護認定看護師
岡本奈緒

摂食・嚥下障害看護認定看護師

摂食・嚥下障害看護認定看護師は、加齢や発達上の問題、疾患・治療による摂食嚥下機能に障害をもつ人に対して、病院や介護施設、在宅などさまざまな場所でより専門的で高度なケアが提供できる看護師として活動しています。



今回は、高齢者に多い誤嚥や窒息について話をしたいと思います。

高齢者の不慮の事故死原因のうち、窒息は最も多く、食事場面は日常生活内で最もリスクの高い場面と考えられます。

窒息は、誤嚥した食物などが気道を塞ぎ、呼吸ができなくなったりした状態です。窒息の原因となる食品として、しばしば「もち」や「こんにゃくゼリー」があげられますが、実際には米飯類、パン、菓子類、魚介類、肉類、果実類など、摂取する機会の多いごく日常的な食品が原因となっています。



食事をするためには、噛む力や飲みこむ力が必要です。高齢者になると、これらの摂食嚥下機能が低下します。以下に挙げた症状は、食べる力が低下しているサインといえます。毎日の食事や生活でチェックしてみましょう。

- ★ 食べるスピードが遅くなり、食べる量が減る
- ★ 知らない間によだれが出る
- ★ せきの力が弱い
- ★ 口の中に食べ物を長くためている
- ★ よくむせる
- ★ うがいがうまくできない
- ★ 口からよくこぼす
- ★ 痰がからみやすい
- ★ 声がかかれる



当てはまる症状や食事について困っていることがありましたらご相談ください。

もっと知りたい!

がん診療連携拠点病院としての取り組み ～栄養科～

●がん診療連携拠点病院における栄養科の役割

現代は、食生活の変化に伴い生活習慣病をはじめ、がんの罹患率も増加傾向にあります。

抗がん剤治療を受けることで、個人差はありますが副作用を伴うことがあります。

味覚・臭覚の変化や食欲不振等、放射線治療による影響も考慮し、食事が思うようにすすまない患者さんには管理栄養士が病棟に出向き、食事相談に伺っています。

できる範囲ではありますが、食べやすい形に食事内容を調整いたします。抗がん剤治療以外にも手術後やその他何らかの理由で食欲低下が見られる場合等、適宜相談に応じますのでお気軽にお声かけください。（栄養補助食品をつけたり、主食を麺類等に変えたりすることもできます）

*ライト食

食事量は半分で、果物や補食（お菓子類）がついています♪

メニュー

（例）

- ・いなり寿司
- ・すまし汁
- ・炒め煮
- ・白菜サラダ
- ・煮豆
- ・補食（シュークリーム、メイバ ランミニ、オレンジ ジ ュース）



クリスマス



お誕生日



その他、患者さんの栄養管理を適切に実施し、病状に応じた食事（形態を含む）を提供することで早期回復を図るよう努めています。

食事が患者さんの楽しみになるように、行事食を取り入れたり旬の食材を使用した料理で季節感を出す等の工夫を行っています。

また、病院でお誕生日を迎える患者さんには心ばかりではありますが、デザートを追加してお祝いさせていただいているます。

●栄養指導

入院、外来栄養指導を随時行なっています（予約制）。

食事によるコントロールが必要な方、退院後の食事、栄養食事相談等、御希望がありましたら適宜対応いたします。

日時：平日 9時～16時 ※当日指導を受けたい方は要相談。



●患者教室、チーム医療の取り組み

膀胱教室、緩和ケアチーム、がんサロン等でも栄養についてのサポートを行なっています。

患者教室に興味のある方はぜひ一度ご参加ください。

ロービジョン外来を開設しました

このたびJA尾道総合病院では、備後地域では初めてとなるロービジョン(LV)専門外来を開設しました。広島県では広島大学病院に次ぐ施設となります。

ロービジョン外来とはどんな診療科ですか？

患者さんの目の状態を正確に把握して、残っている機能を利用した視覚障害リハビリテーションやロービジョンケアを提供します。

～連携している訓練施設・関係諸団体・患者団体を紹介～

同じ状況の人たちのお話が聞きたいなど、ご希望の方には連携している団体を、紹介します。

～社会福祉に関する書類作成～

施設利用のための診断書、身体障害者診断書・意見書、補装具意見書など、ご希望の方に必要な書類の判定及び作成をします。

拡大鏡(ルーペ)



出典: 視覚補助具ハンドブック(日本ロービジョン学会発行)

～患者さん一人一人に合った補装具を紹介～

手持ち卓上型拡大鏡、拡大読書器、音声パソコン、遮光眼鏡、弱視眼鏡、コンタクトレンズ、単眼鏡、白杖、日常生活用具(ロービジョンエイド)など、その人が抱えている不自由さを解消するための補装具を紹介します。

《ロービジョン外来担当医師ごあいさつ》



ロービジョン外来担当の **奈良井章人 (ならい・あきと)** です。

広島大学病院眼科に広島県初のLV外来を開設して8年が経ちました。

現在は理化学研究所の高橋政代チームリーダーのもとで遠隔LVケアの研究にも参加しています。

ロービジョン外来は未来の眼科標準医療の一部です。

高橋政代先生と言えば網膜再生医療のイメージが強いと思いますが、それだけでなく網膜再生手術を受けた後に視覚リハビリとLVケアを行い、最終的には就業支援までをセットで総合的に提供する未来の眼科標準医療を目指しています。

患者さんへ

患者さんが笑顔で病院から帰宅することを目標にしています。

見えなくて諦めていたことはありませんか? もしかしたら、できるようになるかもしれません。いろいろな病気により「見えにくく」なり、日常生活に不自由を感じておられる方に「何が」「どのように」見えにくいのかをお聞きして、その問題を解消するための視覚リハビリとLVケアを提供したいと思っています。結果、一つでもできることが増えれば嬉しいですね。

地域のみなさま

このたび、備後地域最初のLV専門外来を研修医時代にお世話になった尾道総合病院で開設させていただきました。病院スタッフの仲間とともに地域医療に貢献できれば幸いです。

*LV: ロービジョン

*高橋政代: 理化学研究所 CDB 網膜再生医療 研究開発プロジェクトリーダー

2014年9月、自己由来のiPS細胞を加齢黄斑変性の患者へ移植する臨床研究を世界で初めて実施された眼科医。

※ロービジョン外来は毎月第3水曜日の午後からとなっております。(予約制: 眼科外来まで)

アピアランスサロンを開催しました

7月7日金曜日に外科病棟看護師が中心となり【がん治療による外見ケアの相談会・アピアランスサロン】を開催しました。

脱毛ケアのウイッグや帽子、爪の変色、乳房手術後の下着の相談に大勢の方が参加されました。

参加者からは「試着が出来るため安心して選べる」「匂いのないネールを塗って気分転換になった」という声が聞かれました。

当院のサロンの特徴はがん経験した方もスタッフとして参加しているため外見ケアだけでなく『経験したからこそ分かる思い』を大切に、一人ひとりの相談に対応しています。

次回は専門の看護師によるリンパ浮腫に関する相談も行う予定です。全診療科の患者さんが対象で院外からの参加も受け付けています。皆様の参加をお待ちしています。



次回開催日 平成29年10月6日(金) 13時~(参加無料、予約不要)

新任医師のご紹介

よろしくお願ひします



産婦人科

數佐 淑恵
かすさ よしえ

コメント

J.A.広島総合病院より異動してきました。尾三地区の多くの女性の方々にしっかり寄り添うことができるよう頑張ります。

皮膚科

平川 佳葉子
ひらかわ かよこ

コメント



7月より赴任しました平川佳葉子と申します。ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、精一杯頑張りますので、何卒よろしくお願い致します。

薬剤科 栗原 大貴（くりはら だいき）



尾道最大イベント「尾道みなと祭り」。恒例の「ええじやんSANSA・がり」踊りコンテストが今年も4月に開催されました。コンテストは海岸通りの特設コースを各チームが衣装揃え、正調三下がりの曲をアレンジした軽快なリズムに合わせ踊り歩きます。22日23日の2日間で102チーム約5800人が個性あふれる踊りを披露しました。

当院も今年で9回目の参加。医師、看護師、コメディカル合わせ総勢40名参加しました。

今回、私は誘われて初めて参加しました。4月から仕事が終わって週3回の練習。中々覚えられず、踊れるのか不安になりました。周囲の人に個人指導で手取り足取り教えて頂きながら何とか踊れるようになりました。日々重ねるごとに笑いが絶えない練習、他部署の方と顔見知りになり交流を図る場になりました。

本番当日、女子は勿論メイクしますが、男子までメイクしてもらい、頭をアレンジし、私はなんとマツチ「近藤真彦」風にしてもらいました。

さあ、本番!円陣を組み、「行くぞー」の掛け声でスタート。

「ええじやん、ええじやん、尾総ええじやん」のかけ声に沿道からたくさんの声援を頂きました。

終わってからは打ち上げ、他部署の方と飲む機会がないのでお酒もおいしくまた盛り上がりました。

来年も参加しようと思います。



病院理念

- 私たちは、生命の尊さと人間愛を基調に力を合わせて病める人々を守ります。
- 私たちは、地域の基幹病院としての自覚を持ち、常に新しくより高い知識の習得と技術の研鑽に励みます。

基本方針

- 農業協同組合員によって創設されたJA尾道総合病院は、その組合員及び地域すべての住民のために保健・医療・福祉・介護活動を通じて、医師会と連携し地域に貢献します。

ACCESS

- | | |
|-----------|---|
| 車 | 尾道バイパス・平原インターから約3分 |
| バス | <ul style="list-style-type: none"> ●尾道駅（山陽本線）尾道駅前→JA尾道総合病院前下車
(おのみちバス: JA尾道総合病院線・尾道市立大学線・瀬戸田線の3路線) ●新尾道駅（新幹線）新尾道駅→尾道駅前下車（乗り換え）
(中国バス・おのみちバス) 尾道駅前→JA尾道総合病院前 |

利用者専用シャトルバスのご案内

- 三原方面 JR三原駅西口発（所要時間約30分・途中の停留所7か所）
発車時間 7:40▶9:05▶10:25▶11:45▶13:15▶14:20
- 松永方面 松永農協会館前発（所要時間約30分・途中の停留所9か所）
発車時間 7:40▶9:05▶10:05▶12:20▶13:20

※詳しくは総合案内でお訪ねいただくか、病院ホームページをご覧ください。

駐車場のご案内

駐車料金▶2時間無料、その後1時間ごとに100円
診察を受けられた方は無料となります。

